

〈様式2〉

令和5年度 体力向上における各校の成果(小学校)

小浜市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	小浜	小学校	運動会では6年生・委員会が中心となって練習・開会式・閉会式までの企画運営を行った。その結果、自分たちでつくり上げた運動会という意識がもてた。 マラソン大会やなわとび大会では毎時間ごとに目標を設定した結果、目標に向けて頑張ることのできた児童の割合が9割を超えていた。
2	雲浜	小学校	業間マラソンの継続によって、全校児童の約半数が各学年の目標を達成することができた。また、体力テストの数値において弱点であった「握力、長座体前屈、上体起こし」では、全国平均を上回る数(学年、男女別)が7つから9つに増加した。
3	西津	小学校	昨年度に引き続き「がんばりカード」を活用し、目標設定と振り返りを重視し学校行事に取り組んだ。児童アンケートでは、「自分にあった目標を立てることができているか。」という項目や「目標に向かって取り組み、自分の伸びを実感することができているか。」という項目では、ともに93.0%の児童が肯定的な回答をしていた。主体的に目標を設定し、振り返りをする活動は教育的効果があると実感している。また、朝運動のランニングやなわとびでは、縦割り記録を集計・掲示することを年間通じて実施した。ランニングにおいては全体平均で12%の伸び、なわとびでは48%の伸びを記録した。実施中に走るスピードを確認できるよう音楽をかけ、その中で曲を切り替えたり記録を掲示したりと、聴覚的かつ視覚的な支援も行うことで意欲や体力の向上に繋がったと考えている。
4	内外海	小学校	8分間走やチャレンジジョギングを継続し、個人でカードに記録を残したり、学年のランキングを発表したりすることで、意欲的に取り組むことができた。その結果、体力テストのシャトルランで、3～6年の男女とも全国平均を上回った。また、反復横跳びでも全学年で全国平均を上回っており、業間活動の継続的な取り組みにより、持久力だけでなく俊敏性も高まっていることがわかる。
5	小浜美郷	小学校	昨年度までは、晴天時でも1組がランニング、2組は縄跳びというように業間運動の内容を分けていたが、今年度は全校そろって同じ内容の運動ができ、ランニングを11月半ばまで実施できたことにより運動量を確保することができた。 児童アンケートの「私はトコトタイムで時間いっぱい取り組んだり、マラソン大会やなわとび大会の目標に向かってカー杯ががんばったりした」の項目への前向きな回答が前年度に比べて1%増加した。
6	今富	小学校	一輪車の取り組みでは、一輪車記録会を設け、3年生で5割、4、5年生で9割の児童が学年の目標を達成することができた。さらに、業間体育では一人一人が目標設定と振り返りを行い、一年間を通してたてわりで実施できたことで学年を越えた互いの良さや協働する力を育む素地を養うことができた。
7	口名田	小学校	全員の児童が学校教育補助派遣事業により、水遊びや水泳運動の楽しさを実感し、水中での安全確保の運動について理解を深めることができた。 「全国体力・運動能力、運動週間等調査」で9種目中、8種目が、全国平均及び県平均を上回ることができた。
8	中名田	小学校	ボール投げについては、5月測定時に比べ、10月の測定では3～6年生の14名中9名の児童が記録を1m～5m 伸ばすことができた。また長座体前屈も、8名の児童が1cm～5cm 向上させることができた。
9	加斗	小学校	陸上記録会やマラソン大会では、自分の立てた目標を達成した児童は、50%以上だった。なわとび大会の持久跳びでは、学年目標を達成した児童は、56人中43人だった。(76%)